

《参考図書を使って日本の歴史のできごとを調べる！！》

参考図書 (reference book) とは…

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典、辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。

図書館では、これらの本は館内での利用のみとし、必要な時にいつでも調べられるようにしています。



2103  
L6

『国史大辞典』

国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1979～1997 全15巻(17冊)

古代から現代までの日本歴史の全領域をおさめ、考古学・民俗学・宗教・美術・国語学・国文学・地理など、隣接する分野も含め広範な領域における歴史的側面の研究成果を盛り込んだ、歴史百科の決定版です。5万余の項目を五十音順に配列し、一般用語から専門用語までを分かりやすく解説しています。全17冊のうち最後の3冊は補遺と史料・索引にあてられています。索引は引き易さを考えて地名索引・人名索引・事項索引に分けられています。また、本文理解を助けるために写真や図版・図表・系図等が挿入され、参考文献も豊富に紹介され次のステップへの道案内となっています。歴史的なことがらを調べるための、最も基本的な辞典といえるでしょう。

たとえば「平家納経」という項目を引いてみると、基本的な歴史や概要に加え8頁に及ぶカラー図版が添えられていて、見て楽しむことができる辞典でもあります。

『国史大辞典』で調べてみました ①

問 神戸の三宮神社を通りかかったら「神戸事件発生地」の石碑があった。神戸事件って何？

答 「明治元年(1868)正月11日新政府によって西宮の守護を命ぜられた岡山藩家老日置帯刀の部隊が神戸を行進していたとき、外国人が部隊の前方を横断したのがきっかけで、武士の間に潜む攘夷感情が爆発した。藩兵の部隊は外国人に対して発砲(中略)外国側は岡山藩兵の行動に対する報復として、港内にある諸藩の艦船をすべて抑留し、また神戸居留地を軍事的に占領した。(中略)神戸の永福寺で責任者滝善三郎の切腹が各国見証のもとでおこなわれた。ハラキリが外国人の前に公開されたのは、これが最初である(後略)」との説明があります。

(第5巻【神戸事件】の項)

『国史大辞典』で調べてみました ②

**問** 「天空の城」として有名になった竹田城（兵庫県朝来市和田山町）の城主は誰だったの？

**答** 「築城のはじめは室町時代、永享・嘉吉年間(1429～44)のころと伝えられ、但馬守護山名氏麾下の有力な国衆で守護代の任にもあった太田垣氏の本拠の城塞であった。その後、戦国時代にも引きつづき太田垣氏の居城であったが（中略）天正 8 年（1580）太田垣氏は竹田城を去り、代わって秀吉の武将桑山重晴が一時入城し、ついで同 13 年に赤松広秀が播磨竜野城から移って竹田城主となった。しかし広秀は慶長 5 年(1600)関ヶ原の戦に、はじめ去就を鮮明にせず（中略）徳川家康からの不興を蒙り、慶長 5 年 10 月鳥取の真教寺において自害し、城は廃された。」と記述されています。（第 9 巻【竹田城】の項）

～ こんな本でも調べることができます ～

『岩波日本史辞典』

岩波書店 1999 年 [2103=M9]

学生・研究者・一般読者の必要とする基本用語と最新の研究成果を収録しています。

項目として採用しなかった人名や事項を準項目索引として付け加え、合わせて 3 万項目余の事典となっています。戦後史・女性史・教育史など現代的課題にも対応しています。

『明治時代史大辞典』

全 4 巻 吉川弘文館 2011 年 [2161=P1]

大政奉還から明治の終わりまでを中心にあらゆる分野の事項・人物を詳細に解説しています。

調べてみよう！！

- 伊藤博文が兵庫県知事だったのはいつ頃のことか？
- 戦国の武将武田信玄が発行していたという「甲州金」とはどんなものか？
- 陰陽師は宮中に仕えていたらしいが、いつ頃から存在したのだろうか？



まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう。

中央図書館 3 階の「参考図書コーナー」へ！！

図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類のラベルが貼ってあります。

日本の歴史なら【210】～【219】を探してみてください。

場所がわからないときは、カウンターに人にきいてくださいね。